

Rotary



WEEKLY REPORT

高山中央ロータリークラブ

2016～2017 年度 高山中央 RC 会長テーマ

「情熱と友情そして・・・永遠に」



人類に
奉仕する
ロータリー

◆会長 田中 雅昭 ◆幹事 中田 学 ◆会報委員長 津田 久嗣 ◆会報担当 内田 茂

創立 1991 年 5 月 20 日

◇事務局 高山市本町1-2

飛騨信用組合本町サテライト出張所 3階

TEL:0577-36-0730/FAX:0577-36-1488

◇例会場 ひだホテルプラザ 3F/TEL:0577-33-4600

◇例会日 毎週月曜日 PM12:30～

◇ホームページ <http://www.takayamacrc.jp/>

<出席報告>

	会員数	出席会員	出席	Make-up	会長支持率
本日 1122 回	59 名	58 名	46 名	—	79.31%
前々回 1120 回	59 名	58 名	45 名	1 名	79.31%

<点 鐘>

<ロータリーソング>

会長 田中 雅昭
我等の生業

<会長の時間>

会長 田中 雅昭

皆さんこんにちは。
本日は職業奉仕委員会の例会
です。新井委員長宜しくお願
い致します。

さて、トランプ大統領はアメリ
カンファーストと言って日々
話題を呈しています。そして日
本を、安倍総理を褒め称えてお
り、今後の両国間の対応が懸念され、アメリカ中心の国益
の中での本国の在り方が注目される所です。皆さんも
よくご存じのアメリカ大統領ジョン・F・ケネディは昭和
38 年に暗殺されましたが、過去のインタビューの中で「尊
敬する日本人は上杉鷹山であり多くを学んだ」と言いま
した。その後鷹山ブームは広がり「理想のリーダー」として
多くの人から脚光を浴びました。ケネディ大統領は日本を
理解するために新渡戸稲造の「武士道」を読み、その中か
ら上杉鷹山を知り「伝国の辞」が紹介されていました。鷹
山と言えは我々も昔、親から教えられた「為せば成る 為
さねば成らぬ何事も 成らぬは人の為さぬなりけり」は鷹
山の箴訓を聞かされました。

そしてこんな事も言っています。「良き君主は 人民を思
いやり 人民の意見を聞く そうすれば 人民は国を愛
し 国の為に働くことを惜しまない」・・・

ロータリー置き換えると「良きリーダーは 会員を思いや
り 会員の意見を聞く そうすれば 会員はクラブを愛
し 世の為人の為に奉仕する事を惜しまない」と・・・
日本人の私共でさえ熟読していないのに、トランプ大統領
は「武士道」を読まれたのでしょうかねえ
さて会長支持率やいかに！！



<幹事報告>

幹事 中田 学

◎国際ロータリー第 2630 地区ガバナー事務所より
・3 月ロータリーレートのお知らせ
1 \$ = 116 円
・意義ある業績賞の推薦について

◎国際ロータリー第 2630 地区直前ガバナーより
・2015-2016 年度地区記録誌

○下呂ロータリークラブより
・例会場変更のお知らせ
4 月 3 日(月)より 水明館

○岐阜西ロータリークラブより
・例会場変更のお知らせ
6 月 5 日(月)より 岐阜都ホテル

<高山市青少年育成市民会議より>
・平成 28 年度事業実績・収支予算・助成金の請求



<職業奉仕委員会>

委員長 新井 信秀

本日は 2 月 5 日に開催されま
した「職業奉仕研修セミナー」の
報告も合わせて、職業奉仕につ
いて大原副委員長に発表して頂
きます。



<職業奉仕セミナーの報告他>

大原 誠

「職業奉仕について」

本日の「職業奉仕委員会」は、さる 2 月 5 日、名古屋名鉄
グランドホテルで開催されました、職業奉仕セミナー

「Past District Governor 服部芳樹氏の基調講演 我らロ
ータリアンに与えられた使命」でお話しされた概要を説明
報告させていただき、その理解を深めたいと思います。

■ I 職業奉仕はなぜ解かり難いのか

職業奉仕という言葉には、「理念と活動」の二つの意味が
混在しているので、これを混同するとまったく意味の異



なる解釈になることがあり、分けて考えるのが解り易くなります。

「職業奉仕理念」を「実践活動」に移すとき、「個人奉仕」と「集団奉仕」とに分かれ、その個人奉仕における理念を実践する時、2つのキーワード“Vocation”と“Enterprise”があります。

ロータリーの目的（綱領）には、・・・ as a basis of worthy enterprise・・・とあり、和訳は“・・・意義ある事業の基礎として・・・”となっていますが、日本語で「事業」は「仕事・仕業（しわざ）」を言い、そこから、1) 経済活動、2) 社会貢献活動・・・などの意が出ているように説かれています。

次に Vocation は、職業・活動に対する天職意識・使命感・天職・聖職・使命・任務・役割など、沢山の和訳が書かれています

「集団奉仕は、個人奉仕の訓練のためにある。」

奉仕活動のあり方は、ロータリーの原理原則であるセントルイス大会「決議 23-34 号」に、「集団で学び、集団で実例を示し、個人として実践し、一般社会に普及する。」と説かれています

集団で行う職業奉仕・クラブで行う職業奉仕、即ち、クラブ職業奉仕委員会事業は、会員全員で実践するプロジェクトです。

その方策を例示すると

1. 会員に正しい理解を得る研修
“地区の研修セミナーや地区研修・協議会分科会に出席し、その内容を会員全員に伝達すること”

2. 理念に基づく奉仕活動実践
“会員の職業上の手腕（技術・才能・・・）を、社会の要望に役立てる企画を立案して、このクラブが行う職業奉仕活動に参加を要請すること”

とあります。

会員全員で実践する具体的プロジェクトの事例として・・・

- ・ 四つのテスト普及運動
- ・ 奉仕の実例のある職場例会開催
- ・ 特に青少年育成に資する出前講座や体験入社など
- ・ 会員の家族・ロータリー家族・従業員・一般社会へ機会あるごとに語る。

ここで、「集団と団体」の意味を明示すると・・・

個々が、同じ志と云う相互関係で結束するものを「集団」と呼び、その奉仕活動は、個々の同じ思いで参加する「I serve”。

これに対し「団体」は、共通の目的達成のために組織化されており、その奉仕活動は、命令系統が確立して個が消え、統括された“We serve”となります

2016 年版 R クラブ定款の項目には、五大奉仕が第 6 条にまとめて定義付けられ、独立して取り上げられており、また、その条項に、プロジェクトは分類されていません。

それによって、かつて、奉仕活動の分類、委員会名の分類として理解していた五大奉仕を、現在では、奉仕活動の理念として捉えなければならないようになりました。

かつて教えられた職業奉仕の説明に、タクシードライバーの話がありました。

「ある雨の夜、お客様を送って家に着いたとき、傘をさしかけて玄関まで付き添って行きました。この親切は職業奉仕の一つ。それは、料金をいただく仕事に関連しているから・・・

さて車庫へ帰る途中、降りしきる雨の中人気無い暗い途を」とぼとぼ歩く老人を見つけ、車に乗せて送りました。

この親切は社会奉仕の一つ。それは、金銭の代償をいただかないから・・・

もしこの時、客や老人が外国人であったら国際奉仕、生徒や学生だったら青少年奉仕。」

現在この話は、過去のものとなっており、現在の職業奉仕の考え方からすれば、有償・無償は職業奉仕に関係ありません。

有償・無償で、これを職業奉仕と社会奉仕に分類することもできません。

それは、2016 年規定審議会「16-10 奉仕の第 2 部門を改正する件」による標準 R クラブ定款の改定がその理由で、新たな条文が追加となり、「会員の役割には、ロータリーの理念に従って自分自身を律し、事業 businesses を行うこと、そして自己の職業上の手腕 vocational skills を社会の問題やニーズに役立てるために、クラブが開発したプロジェクトに応えることが含まれる。」とされました。この考え方が、日本でガラパゴス的に進展した職業奉仕の理論と、現在の RI の考える職業奉仕観との乖離といわれるところです。

ひとつの奉仕活動のなかには、さまざまな五大奉仕の要素が混然と混じり合っただけで一体化しています。

そして、全ての奉仕活動は、職業奉仕活動の基礎の上にあります。

あらゆる奉仕活動も寄付も、ロータリアンの才能と手腕、職業の繁栄によって得られた社会的な地位や経済力によって展開しています。

「職業の繁栄なくしてロータリーなし」といえます。

“I 職業奉仕はなぜ解り難いのか”のまとめとして・・・

“職業奉仕と云う言葉の中に二つの意味が混在しているので、理念と実践（奉仕活動）とを分けて考えると、その理念は職業のみならず、社会のリーダーとしての心構えであり、その実践はロータリーのあらゆる奉仕活動の基盤である。”

■ II 奉仕の理想を実践する職業奉仕活動について

1906 年には、社会奉仕の概念が起こり、1911 年には、Arthur Frederick Sheldon によって「職業奉仕」の理論が語られ、1921 年には「国際奉仕」の概念が説かれました。

この中には、「青少年奉仕」の基本理念も含まれています。

このようにして、互恵団体から奉仕団体へと発展し、Sheldon が最初に語った「奉仕の概念」は、次第にその意義を深めて行きました。

社会奉仕・国際奉仕と呼んでいるクラブが集団で行う奉仕活動とロータリアン個人が「事業を行う時、それが社会の人を幸せにすることであらねばならぬ」と願う考え方が芽生え、今それを「職業奉仕」Vocational Service と呼んでいます。

この考え方は、ボランティア活動や寄付を目的とするだけの他の奉仕団体にはない、ロータリー独自のものであり、我々ロータリアンすべての心構え、基礎的な理念となっています。

奉仕： Service

奉仕という日本語の概念は、「没我・滅私奉公・ひたすら仕え奉る」という意味しかありません。

Service という英語の概念には、「世のために役に立つ」というもっと広い意味があって、日本語の意味とは全く異なるようです。

やがて「信頼」と「寛容」の上に築かれた仲間意識の固い絆「親睦」、その中で理想的な奉仕の理念である「奉仕の理想」が育まれて行きました。

「職業奉仕を一言で云えば？」と尋ねられたら

“He Profits Most Who Serves Best 最も良く奉仕する者、最も多く報われる”

1903年、Arthur Frederick Sheldon がいったことですが、当時 Sheldon は、経営学の学校を営んでいたため、セールス成功のための原理を示した標語です。

Sheldon は、経済を支える精神を、奉仕という愛の世界の行動と説きました。

また、「最も良く奉仕する者、最も多く報われる」、決議 23-34 ではこの標語の理論のうえに、「超我の奉仕」の哲学が成り立っていると説いています。二つのモットーは、一連のものです。

決議 23-34 には、次のように語られています。

ロータリーは一つの人生哲学である。その哲学は奉仕即ち、超我の奉仕の哲学であり、最もよく奉仕する者は最も多く報われるという実践的な倫理原則に基づいている。

職業奉仕は、Compliance の概念を超えた愛の世界の心の ethos。

ロータリアンとは、この心を持った人。

このようにして職業奉仕の名の下に、奉仕の理想と云う高い精神性を、会員のあらゆる事業の基盤としたロータリーは、世界中の心ある人々の共感と賛同を持って発展してきました。

「奉仕」は、人ならば誰でもが抱いている永遠不滅の心「愛」の世界の行動である。

我々は「理想的な奉仕の心」を学び、如何なる事を為すときにもこの心を基盤として実践し、これを社会に普及する。これが「天与の使命・職業奉仕」である。

職業奉仕理念を、日々の生活のなかで実践する方法はただ一つ。

“He profits most who serves best 最も良く奉仕する者、最も多く報われる”



<ニコニコBOX>

昨日は、学位取得でお世話になった戸田先生の叙勲受賞祝賀会に東京のニューオータニに30年ぶりに日帰りで行って来ました。外見は全然変わっていません。若い頃の数少ない武勇伝を思い出しました。東京マラソンもありましたが、無事帰って来れましたのでニコニコへ。東京はいいなあ〜♪

高木 純

3/12(日) 零宮祭開催します。是非是非、足をお運びください。神輿の子供会合せて20基になります。ありがとうございます。

都竹 太志

☆お礼とお知らせ☆ 昨日の朝、クラブから大きな花束が自宅に届きました。「誕生日 何がめでたい 前期高齢者」そんな感傷的な日を迎えた私ですが、美しい花々で気分は一転、HAPPY! な一日にして頂き本当にありがとうございました。明日から配られる月刊 SARUBOBO3 月号。クラブのご縁で都竹さん率いる「零宮祭」を巻頭特集として取り上げさせて頂きました。都竹さんの男っぷりと心粋が余すところなく掲載されています。是非、ご一読下さいませ。

阿部 眞澄美